

1. 北海道 2. 長野県 3. 静岡県 4. 青森県

1. 乾燥した強い風によって農地の水分が奪われ、農作物が枯れてしまう干害が発生する。

2. 大雨を伴う強風が続くため、河川の氾濫によって農地が浸水する洪水被害が発生する。

3. 急激な気温上昇をもたらし、農作物が乾燥して品質が低下するフェーン現象が発生する。

4. 気温が上がらず日照時間も不足するため、稲などの作物の生育が悪くなる冷害が発生する。

1. 広大な平野を活かして、夏と冬で異なる作物を作る二毛作が全域で普及しており、米の銘柄化は進んでいない。
2. 夏の低温被害である冷害を避けるため、品種改良によって耐冷性と食味を両立させた銘柄米の生産に力を入れている。
3. 冷害対策として、全ての水田を温室のような施設栽培に切り替えることで、高級な銘柄米を安定供給する体制を築いた。
4. 日本海側では「やませ」の影響による干ばつが多いため、干拓地を利用した大規模な灌漑施設による銘柄米作りが行われている。

1. 食料自給率を向上させるため、工場の跡地がすべて大規模な水田や畑として整備された。

2. 産業構造の変化や都市機能の更新に伴い、工場の跡地が別の用途へと転換された。

3. 地域の歴史的な景観を後世に伝えるため、工場の建物が当時の姿のまま永久保存された。

4. 大規模な災害に備えるため、工場跡地のすべての建物が取り壊され、一切の建築が禁止された。

1. 福岡県の福岡市 2. 北海道の札幌市 3. 宮城県の仙台市 4. 広島県の広島市

1. からっ風 2. やませ 3. 季節風 4. フェーン

1. 冬の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、それが奥羽山脈などの山地にぶつかると雪を降らせるため、1月の平均気温が氷点下になるなど寒さが厳しい。
2. 冬の季節風が奥羽山脈を越えて乾燥した風として吹き下ろすため、雪はほとんど降らず、1月の降水量は100mm未満と非常に少なくなる。
3. 夏に吹く冷たく湿った「やませ」の影響が冬まで残るため、1年を通じて降水量が多く、1月の平均気温は氷点下にはならないが日照時間が極端に短い。
4. 太平洋側から吹き込む暖かくて湿った空気の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖であり、1月の平均気温が氷点下になることはほとんどない。

1. 電子部品は重量があり、容積も大きい
ため、鉄道や船舶による大量輸送を前提とした大規模な物流拠点が
必要だから。

2. 電子部品は小型で軽量なため、高
速道路を利用したトラック輸送に適
しており、付加価値が高いため輸送
費の負担を抑えられるから。

3. 原料となる鉄鋼などの重い資材を
高速道路で海外から直接輸入し、生
産コストを大幅に削減する必要があ
るから。

4. 内陸部は沿岸部に比べて地価が極
めて高く、ブランド力を高めるため
にあえて高級な立地条件を選んでいる
から。

1. 宮城県は、仙台平野などの平地を有効に活用しており、総面積に対する耕地面積の割合が青森県を上回っている。
2. 岩手県は、広大な土地を活かした畜産業が極めて盛んであり、県全体の農業産出額の7割以上を畜産が占めている。
3. 青森県は東北地方で最も総面積が大きい。山地が多いにもかかわらず耕地面積の割合も東北6県で最大である。
4. 秋田県と山形県は東北を代表する米どころであり、この2県だけで東北地方全体の米の産出額の半分以上を占めている。

1. 樹齢1000年を超える巨大な屋久杉が自生する、独特の生態系を持っているため

2. 江戸時代から続く伝統的な林業によって、良質なスギの人工林が守られてきたため

3. 人為的な影響をほとんど受けていない、広大なブナの原生林が維持されているため

4. 標高3000メートルを超える山々が連なり、氷河の侵食による地形が発達しているため

1. 山形県 2. 秋田県 3. 福島県 4. 宮城県

1. 北上川 2. 阿武隈川 3. 最上川 4. 米代川

1. 筑後川 2. 信濃川 3. 石狩川 4. 北上川